# 本書の読み方

- A **ハードウェア構成シート** 本サーバにおけるハードウェアの構成を記録しておきます。
- B BIOS セットアップユーティリティ設定シート 本サーバにおけるBIOS セットアップユーティリティの設定値を記録しておきます。
- C システム資源管理表 各種拡張カードで選択できるI/O ポートアドレスについて説明しています。
- D デザインシート(Windows) ソフトウェアの設定を記録しておきます。
- E **障害連絡シート** 障害が発生した場合にサーバの状態を記入しておくシートです。

## 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
PRIMERGY MX130 S1	本サーバ、またはサーバ	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2 Standard	Windows 2008
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation	Windows Server 2008 R2 Foundation	

#### ■商標

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標 または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。 その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2011

# <u>A</u> ハードウェア構成シート

本サーバにおけるハードウェアの構成を記録しておきます。 選択構成箇所については、選択した構成の()内に レ を付けておきます。

#### ■3.5インチ内蔵オプション

搭載位置	搭載3.5インチ内蔵オプション
Bay1	
Bay2	

#### ■内蔵DVDドライブユニット

搭載位置	内蔵DVDドライブユニット	
Bay1	()DVD-ROM (標準搭載)	

#### ■RAMモジュール

搭載位置	搭載RAMモジュール
DIMM-1	
DIMM-2	
DIMM-3	
DIMM-4	

#### ■CPU

搭載CPU	
()	
( )	
( )	
( )	
( )	

#### ■PCIカード

	PCIスロット位置			
拡張カード	1	2	3	4
	(PCI-Ex16)	(PCI-2)	(PCI-1)	(PCI-Ex4)
	( )	( )	( )	( )

-:搭載不可を示します。

# <u> B セットアップユーティリティ設定シート</u>

本サーバにおけるBIOS セットアップユーティリティの設定値を記録しておきます。ご購入時の設定値から 設定を変更していない場合は、「()ご購入時設定を変更していない」にレ を付けてください。設定を変更 した場合は、「設定値」欄の()内にレ を付けてください。(ただし、「ご購入時設定」欄に網掛けしてある 項目については、変更禁止です)

## PPONT,

▶BIOS セットアップユーティリティは以下の方法で起動します。 POST 中、画面に下記メッセージが表示されている間に、【F2】キーを押してください。 POST 終了後、BIOS セットアップユーティリティのMain メニューが表示されます。

<F2> BIOS Setup - <F12> Boot Menu

BIOS セットアップユーティリティを起動する前にシステムが起動してしまった場合は、 【Ctrl】+【Alt】+【Del】キーを押して、システムを再起動してください。

## B.1 Main メニューの設定項目

()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
System Time: System Date:	HH:MM:SS MM/DD/YYYY	現在の時刻を表示/入力 現在の日付を表示/入力
> Boot Features		■Boot Featuresサブメニューへ
System Memory: Extended Memory:	633K 1789M	

#### ■Boot Featuresサブメニュー

()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
Boot Features		
POST Errors: Fast Boot: POST Diagnostic Screen: Boot Menu:	Enabled Enabled Enabled Enabled	<ul> <li>( )Disabled</li> <li>( )Disabled</li> <li>( )Disabled</li> <li>( )Disabled</li> </ul>

## B.2 Advancedメニューの設定項目

設定項目	ご購入時設定	設定値
Setup Warning		
Setting items on this menu to incorr	rect	
values may cause your system to n	nalfunction.	
> Peripheral Configuration		■Peripheral Configurationサブメニューへ
> Advanced System Configuration		■Advanced System Configurationサブメ ニューヘ
> DMI Event Logging		■DMI Event Logging サブメニューへ

### ■Peripheral Configurationサブメニュー

#### ()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
Peripheral Configuration	-	
Serial 1: LAN Controller: LAN Remote Boot: SATA Mode:	Auto Enabled Enabled	( )Disabled ( )Enabled ( )Disabled ( )Disabled ( )Native ( )Compatible ( )AHCI ( )AMD AHCI Class
SATA Port 1: SATA Port 2: SATA Port 3: SATA Port 4: SATA Port 5: SATA Port 6:	Internal Internal Internal Internal Internal Internal	<ul> <li>( )External</li> </ul>
USB Host Controller: USB Devices: USB Ports:	Enabled All Enable All	<ul> <li>( )Disabled</li> <li>( )None ( )Keyboard And Mouse Only</li> <li>( )Disable Unused Ports ( )Disable Special Devices</li> <li>( )Keyboard And Mouse Only</li> </ul>

### ■Advanced System Configurationサブメニュー

()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
Advanced System Configuration	-	
Integrated Graphic:	Auto	()Enabled
Frame Buffer Size	Auto	()32M()64M()128M()256M()512MB
SMART Device Monitoring:	Enabled	( )Disabled
Fan Control:	Enabled	( )Disabled

## ■DMI Event Loggingサブメニュー

()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
DMI Event Logging		
Event log validity Event log capacity	Valid Space Available	
View DMI event log Event Logging	Enter Enabled	( )Disabled
Mark DMI events as read Clear all DMI event logs	Enter No	( )Yes

# B.3 Security メニューの設定項目

#### ()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
Supervisor Password	Not installed	Supervisor Password の設定の有無を表示
User Password	Not installed	User Password の設定の有無を表示
Set Supervisor Password	Enter	Supervisor Password の設定
Set User Password	Enter	User Password の設定
Password on boot:	Disabled	( )First Boot ( )Every Boot
> TPM (Security Chip) Setting		■TPM (Security Chip) Settingサブメニューへ
Setup Prompt:	Enabled	( )Disabled
Virus Warning:	Disabled	( )Enabled ( )Confirm
ATA Vulnerability Protection:	Standard	( )Enhanced
Flash Write:	Enabled	( )Disabled

## ■TPM (Security Chip) Settingサブメニュー

()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
Security Chip: Current TPM State:	Disabled Disabled and	( )Enabled TPMの状態を表示
	Deactivated	

# B.4 Powerメニューの設定項目

#### ()ご購入時設定を変更していない

設定項目	ご購入時設定	設定値
Power-On Source: LAN: Wake On LAN boot: Wake Up Timer: Wake Up Time:	BIOS Controlled Enabled Boot Sequence Disabled [00:00:00]	<ul> <li>( )ACPI Controlled</li> <li>( )Disabled</li> <li>( )Force LAN boot</li> <li>( )Enabled</li> </ul>
Wake Up Mode: Wake Up Day: *	Daily 1	( )Monthly
Power Failure Recovery: Low Power Soft Off: Hibernate like Soft Off:	Previous State Disabled Disabled	( )Disabled ( )Always Off ( )Always On ( )Enabled ( )Enabled
USB At Power-off: USB Keyboard:	Always Off Disabled	( )Always On ( )Enabled

\*: [Wake Up Mode] が [Monthly] の時に選択可。

# B.5 Boot メニューの設定項目

設定項目	ご購入時設定	設定値
Boot priority order:		
1: SATA CD: TSSTcorpDVD-ROM-(S2)		
2: PCI BEV: MBA v14.0.6 Slot 0200		
3:		
4:		
5:		
6:		
7:		
8:		
Excluded from boot order:		
:Legacy Network Card		
:Bootable Add-in Cards		

# B.6 Exit メニューの設定項目

設定項目	ご購入時設定	設定値
Save Changes & Exit:		現在の設定値をCMOSに保存して、BIOS Setup Utility を終了する。
Discard Changes & Exit:		現在の設定値をCMOSに保存しないで、BIOS Setup Utilityを終了する。
Get Default Values:		現在の設定値を 本サーバの初期値に戻す。
Load Previous Values:		現在の設定値をCMOSに保存している内容に戻す。

# C システム資源管理表

各種拡張カードで選択できるI/Oポートアドレスは、以下の表のとおりです。 なお、I/O ポートアドレスは変更しないでください。

#### ■I/0ポートアドレス

品名	I/Oポートアドレス(h) 100 140 180 1C0 200 240 280 2C0 300 340 380 3C0 400	設定方法
シリアルポート1		BIOSセットアップ

\*[] ] は、それぞれの拡張カードで選択できるI/Oポートアドレス空間を示します。

- □ はそのマークが重なる目盛のアドレスから16バイトまたは16バイト内の一部の空間を使用します。 (┃ はデフォルトで選択されている空間)

□ はそのマークが重なる目盛のアドレスから32バイトまたは32バイト内の一部の空間を使用します。
 (■ はデフォルトで選択されている空間)

# <u>D</u> デザインシート (Windows)

ServerView Installation Manager を使用してサーバをセットアップする場合に、各ウィザードの 設定値をあらかじめ記入しておくと、セットアップ作業がスムーズに行えます。

## D.1 OSの選択(Windows)

設定項目	選択項目	
	( ) Windows ( ) Hypervisor	
Windows		
Windows Server 2008 R2	<ul> <li>( ) Windows Server 2008 R2 Standard</li> <li>( ) Windows Server 2008 R2 Foundation</li> </ul>	

# D.2 デザインシート(ディスクの構成)

	設定項目		選択項	[日	
ディスク ↓	追加するディスク数分コピーして使っ	てください。			
	パーティション ↓追加するパーティ	ションの数分コピ・	ーして使ってください	0	
	ボリュームラベル				
	ファイルシステム	() NTFS	( ) FAT		
	パーティションサイズ	()自動	()サイズ	MB	
	クイックフォーマット	()する	()しない		
	パーティションの利用形態	( ) Boot	( ) 0S	() Data	

# D. 3 0Sウィザード(Windows2008 インストールウィザード)

設定項目	選択項目				
Windows 2008のインストール					
	インストールイメージの選択				
インストールメディア	( )インストールディスク ( )Microsoftメディア ( )カスタマイズイメージ				
インストールのタイプ	( )Core ( )フルインストール				
インストールする言語	(デフォルトーDefault)				
アーキテクチャ	( )x86 ( )x64				
	基本設定				
名前					
組織名					
コンピュータ名					
プロダクトキ <u>ー</u>					
	(OSインストール/バンドルタイプに添付されているDVDを使用する場合は不要)				
Administratorパスワード					
タイムゾーン	(デフォルトーGMT Standard Time)				
地域と言語	(デフォルトーEnglish)				
	システムの設定				
参加先	( ) ワークグループ ( ) ドメイン				
ワークグループ/ドメイン名	(デフォルトーWORKGROUP)				
ドメインの場合					
ドメインユーザ名					
パスワード					
留佈由	()640 * 480 ()800 * 600 ()1024 * 768				
件你皮	( ) 1156 * 864 ( ) 1280 * 1024 ( ) 1600 * 1200				
リフレッシュレート	( ) 60 ( ) 70 ( ) 72 ( ) 75 ( ) 80 ( ) 85 ( ) 100				
画面の色	( ) 1 ( ) 4 ( ) 8 ( ) 15 ( ) 16 ( ) 24 ( ) 32				
	()ローカルCD/DVDからOSをインストールする				
0501225-209-2	()ネットワーク共有パスからOSをインストールする				
ネットワーク共有パスからインストールする場合	ネットワーク共有パスからインストールする場合				
ネットワーク共有パス					
ユーザ名					
パスワード					

(続く)

	設定項目	選択項目
	TC	P/IP システム
アダフ	ያ名	
		アダプタ詳細
イ	ンターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)	
	DHCPを使用する	()はい ()いいえ
D L	IPアドレス	
c	サブネットマスク	
P	デフォルトゲートウェイ	
を	TCP/IP設定の追加	
日用	IPアドレス(追加)	
し	デフォルトゲートウェイ(追加)	
ない	DNSの詳細設定	l
, in the second s		
	DNSサーバ	
		( ) Enable Adapter Domain Name Registration
		( ) DHCPからのNetBIOS設定を使用する
	NetBIOSオプション	( ) NetBIOS over TCP/IPを有効にする。
		( ) NetBIOS over TCP/IPを無効にする。
IP	ッ6-インターネット プロトコル バージョン6(TCP/IP	v6)
	モード	()DHCP ()自動構成 ()手動設定
手	IPアドレス	
劉設	サブネットプレフィックスの長さ	
定	TCP/IP設定の追加	
	IPアドレス(追加)	
	サブネットプレフィックスの長さ(追加)	
	DNSの詳細設定	
DNSサーバ(追加)		
-	TCP/IF	? バラメータ 詳細設定
DI	NSFメイン名	
DI	NSサーバ	
⊢⊢		() UNSナホルノを有効にする
		( ) ICMPリダイレクトを使用する

(続く)

設定項目	選択項目
	役割と機能の追加
	( ) SNMPサービス
	() DHCPサーバ
	()ルーティングとリモートアクセスサービス
	()接続マネージャ管理キット
	<ul><li>()DNSサーバ</li></ul>
	() WINSサーバ
	() Simple TCP/IP Services
	( ) ネットワーク ポリシー サーバ
	() LPR ポート モニタ
	、/
トラップ構成項目	
コミュニティ名	
トラップ送信先	
セキュリティ	
受け付けるコミュニティ名	
	()t
	()通知
コミュニティの権利	()読み取りのみ
	()読み取り、書き込み
	( ) 読み取り、作成
	( )認証トラップを送信する
	 ()デフォルトのホストからSNMPパケットを受け付ける(localho
受け付けるホスト名	、 (指定する場合
エージェント	
連絡先	
場所	
	()物理 ()データリンク
サービス	$() 10^{4}  () 7^{7} \sqrt{27} $
「ルーティン	
	( ) RASをサポート
	() LANをサポート
	() RASとLANをサポート
ルートダイノ	
	( ) KASとLANとWANをサポート
	追加のパラメータ
Remote Desktop	
	( )リモートデスクトップを有効にする
リモートアシスタンス	
このコンピュータへのリモート	( ) 許可する
アシスタンス接続を許可する	ע. גני וא /
このコンピュータがリモート制御される	
このコンビュータがリモート制御される のを許可する	( )許可する
このコンビュータがリモート制御される のを許可する 招待を有効にする最大時間	()許可する ())時間

# D.4 アプリケーションウィザード

設定項目	選択項目
	アプリケーションウィザード
	アプリケーションの選択
ServerView Suite	
Add-on Packages	<ul><li>( ) Java Runtime Environment</li><li>( ) Custom Scripts and Pacakges Installation</li></ul>
Software Packages for JAPAN	<ul> <li>( ) ServerView エージェント</li> <li>( ) ServerView アップデートエージェント</li> <li>( ) ServerView Operation Manager</li> <li>( ) DSNAP</li> <li>( ) ソフトウェアサポートガイド</li> <li>( ) RAS支援サービス PRIMERGY</li> <li>( ) HRM / server (PRIMERGY)</li> </ul>
インストールソース	( )ローカルCD/DVD ( )ServerView Suite DVD 1 ( )ネットワーク共有
ネットワーク共有パスからインストールを行う場	
ネットワーク共有パス	
ユーザ名	
パスワード	

# E 障害連絡シート

モデル名・型名	PRIMERGY MX130 S1 (PG )		
OS			
設定環境		—	
		+	
		-	
LAN·WAN環境			
		+	
		-	
現象		<u> </u>	
		+	
		+	
		+	
		1	
	┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼	ŧ	

#### PRIMERGY MX130 S1

#### 環境設定シート CA92276-8975-02

#### 発行日 2011年12月 富士通株式会社 発行責任

●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 ●本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の優害については、当社はその責を負いません。

●無断転載を禁じます。